

昔から「二月は逃げる。」と申します。月日の経つのを早く感じる季節ですね。

ところで、年が改まり新型コロナウイルス感染症において、オミクロン株による陽性者数が急拡大する新たな様相を呈してきており、当面、政府の決定により京阪神3府県については2月20日まで蔓延防止等重点措置が適用されました。但し、政府及び各種マスメディアによれば、以前のコロナ禍とは異なり、感染力は極端に強い割には重症者や死亡者がかなり抑えられていて、今後、政府及び関連自治体から、多くの国民がもっと安心できる有効策を強く発信していただくことを期待しています。

当倶楽部は、今月の「明るいセミナー」及び3月に開催予定の「明るい会社対抗運動会」につきましては、慎重に検討した結果、大事をとり中止の決定をいたしました。

今後につきましては、コロナ禍の第6波の沈静化を見極めつつ、広く皆様からのご意見もお伺いしながら、次の年度へ向けて諸計画を準備して参りたいと考えております。

何卒よろしくお願ひ申しあげます。

### < 2月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 2月号
- ② 年会費ご納入のお願い (該当者のみ)

### < 第56回 明るいセミナーの中止について >

- ・ 来たる2月21日(月)に開催予定しておりました当該行事は、コロナ禍の中、開催するには感染拡大の沈静化の見通しが非常に不透明であると判断し、急遽中止することに決定いたしました。
- ・ 大きな期待を寄せていただいた皆様には大変申し訳なく思っております。この場をお借りして心よりお詫び申しあげます。



節分に因む折り紙  
(松居理事の手作りです)

### < 2月の活動予定 >

2/5(土)	気楽な ZOOM サロン <sup>⑮</sup>	当倶楽部会員専用の交流の場です。	20:00~21:30
2/16(水)	臨時役員会議 <sup>⑳</sup>	「今後へ向けての諸準備」	13:30~14:45
2/16(水)	明るいシステム検討会議 <sup>㉑</sup>	「AKS 認証企業の担当割について」	15:00~16:15
2/18(金)	仏教雑学講座	河本 雪夫 会員	(中止)

### AKS 市民大学 (ZOOM)

2/9(水)	菊池教室 <sup>⑬</sup>	「感性を育む和学講座」	20:00~21:30
2/23(水・祝)	柴原・松居教室 <sup>⑯</sup>	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30
2/26(土)	宮崎教室	「もやもや解決法」	20:00~21:30

—— 人の生き方・考え方も色々。 ——

高村 和義

近頃は、個人の生き方は様々であると思う一方、当然のことながら会社の生き方即ち企業経営も更に多様だという思いを強く感じています。

ここで、個人の生き方について少し触れたいと思います。

会員の皆さんも振り返ってみれば、一人一人自分なりに人生を切り開いて今日に至ったことと思います。

自らに置き換えますと、30代半ば頃からでしょうか、自分の人生目標を定め、そのための手順やスケジュールを立て、どう実践していくかを少しは考えてきました。平たく言えば、PDCAサイクルによる目標達成みたいなものとも言えますが、どこまで実践してきたかですね。(苦笑)

それにしても、今回ご紹介する著述業の小林正観氏の「喜ばれる」という著書を紐解いていくと、「自らの成長」よりも「人に喜ばれる」という全く違う生き方、考え方があることに驚きました。

確かに、人との関わりを持つとどこかの時点で「何かを頼まれる」ことがあります。

そうした場合、一般的には、誰でもその取捨選択は内容によりけりと考えます。それでも、中には、「頼まれごとは試されごと。」と割り切って、それほど迷わずに依頼を受ける人もいます。

上述の小林氏の場合は、更に一歩進んで、もっと自然体で気軽に引き受ける、むしろ積極的に引き受けるという感覚に聞こえます。



このことは一体何を意味し、背景には何があるのでしょうか。

勿論、自らを磨く努力も大いに尊重されましょう。一方、他者を喜ばせることに徹することも意外に大切なかもしれません。その中で自らの立ち位置や役割を確立する重要性をさりげなく説いておられるようで、ここには何か仏教における「忘己利他」の精神と相通じるものを感じますね。

私の場合は、幾つになろうと中々その境地に達する状況ではありません。

ただ、明るいシステム倶楽部で活動していると、色々な方々と接する機会に恵まれ、周囲の方々の個性や長所の方が目に入り、自分のことより皆さんのお話をお聞きする内に、その生き方や姿勢に随分と感化されていることに気付きます。そうしますと、自分の主張よりも皆さんの思いや考え方を素直に受け止める方がずっと気楽ですし、為にもなり、また楽しかろうというものです。

こうしたことが日々の生活に反映し、自分の人生の積み重ねに繋がるとしたら、これほど興味深いことはないかもしれません。今風に言えば、中々「クール」にも思いました。

そう言えば、以前から「ギブアンドテイク」とか「ギブアンドギブン」等も言われてきました。

とても面白い考え方ですが、更に踏み込んで「喜ばれる」に徹した姿勢、考え方、行動は、現状をまず肯定する考え方が基本にあり、これからの生き方にも大いに意義あるものと改めて感じました。

この点は、諸外国よりも日本的な発想かもしれません。世の中の種々の分野において「分断」や「無関心」が急拡大する中、「繋がり」や「他者への思い」等は貴重な発想だと感じています。

最後に、企業も多くの人を抱える有機的な集合体であり、もっと人間関係の円滑化が進めば、企業経営にも大いにプラスになりましょうし、更にそうした事例が増えることを切に願うものです。